

学校教育目標	1 個性が発揮できる学校生活(知) 自ら学び、自分らしさを発揮し、生きる喜びを実感できる生徒を育てます。					
	2 誰もが尊重される学校生活(徳・体) 自らの心と体を健やかに育み、互いの立場を尊重しあえる生徒を育てます。					
3 地域とともにつくる学校生活(公・開) 地域との交流を積極的に進め、地域の一員としての自覚を育てます。						
学校概要	創立 27 周年	学校長	池田ゆかり	副校長	大音師右至	3 学期制
	児童生徒数: 369 人		主な関係校: 小田小学校			
一般学級: 11		個別支援学級: 2				

教育課程全体で育成を目指す資質・能力	中ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
<言語能力や問題解決能力を通して、よりよい社会の創造に貢献できる力>	小田中学校	コミュニケーションを通して社会や自分の未来を創造しようとする子ども ・合同研修会、授業研究会を実施し、主体的・対話的な深い学びのある授業実践をします。(授業のつながり) ・生活アンケートやYPアセスメントを実施し、人権教育に役立てます。(人のつながり) ・地域との連携を図り、信頼される開かれた学校づくりを推進します。(学びの場のつながり)

中期取組目標	<ul style="list-style-type: none"> * 「わかる」「できる」「楽しい」授業づくりを推進し、日々授業改善する意識をもって、確かな学力をつけていきます。 * 生徒一人ひとりを徹底的に大切する、きめ細やかな指導を継続し、自己肯定感、自己有用感を高めます。 * 家庭・地域・小中一貫教育推進ブロックとの絆を深め、共に学び、共に育つ学校づくりを推進します。 * 生徒と職員・保護者と職員・地域と職員そして職員同士の信頼関係を深め、活気ある学校づくりを推進します。 * 人権教育を推進し、「誰もが」「安心して」「豊かに」生活できる学校を目指します。
--------	--

重点取組分野	具体的取組
確かな学力	①生徒の実態を把握し、躰きの見られる生徒への学習支援方法を考えたり、学び直しの機会を設定することで基礎基本の定着を図ります。②教科横断的に育成する「資質・能力」を共通理解し、指導方法や授業改善等、授業力向上を図ります。③考え、まとめる、発表するなど自己表現力を高めます。
担当 学習指導部	
豊かな心	①他者とのかかわりや自己を見つめ、集団や社会の一員であることを実感しながら自尊感情を高められるよう、多様な体験活動を推進します。②人権作文や福祉活動等、体験を通じた人権意識の啓発を図ります。③あいさつ運動や、道徳や学活等を通じて規範意識の向上を図ります。
担当 道徳・人権	
健やかな体	①新体力テストの結果から、生徒が自己の状況を把握し、課題克服ができるようにします。②運動会や特別活動を通じ、仲間と協力して努力する態度を育てるとともに、心身の成長を図ります。③学校保健委員会等の活用により規則正しい食生活を通じて、健やかな心と体の育成に努めます。
担当 保健体育科・保健安全	
特別支援教育	①特別支援コーディネーターを軸としたケース会議を定期的開催し、生徒状況把握し、生徒理解をもとにして、組織的に支援が行えるように努めます。②SC、区子ども家庭支援課、児童相談所等との連携を図り、個に応じた課題解決を図ります。③ユニバーサルデザインを心がけた授業を行います。
担当 特別支援委員会	
児童生徒指導	①連絡会や風通しの良い職場環境の中で、情報共有と指導の連携を図り、個に応じた指導を行います。③生徒を「認める」「褒める」場面を積極的に作り、自尊感情を高めます。④保護者や関係諸機関と連携し、多面的に生徒の状況を把握して、感情をコントロールする力を身につけ指導力を高めます。
担当 生徒指導部	
地域連携	①小中の授業交流、体験交流、地域との交流の機会を多くし、地域の一員としての自覚を高めます。②学校情報を、学校便りやホームページを活用し、積極的に発信します。③緑化運動や祭礼、ボランティアを通して、地域と協働した学校づくりを推進し、地域とともにある学校にします。
担当 教務部・生徒指導専任	
学校運営協議会	①小田小学校・小田中学校合同学校運営協議会を発足させることで、学校・地域の協働が行われるようにします。②9年間で育てる子ども像や資質能力を共有し、生徒と地域住民との懇談会開催やキャリア教育への協力を仰ぎ、社会に開かれた教育課程の実現を図ります。
担当 教務部	
人権教育の推進	①8月に行っている小中合同人権研修会によって、9年間で育てる子ども像をもとに人権意識を高めます。②道徳の授業を通して、人権尊重の精神を基盤とした望ましい人間関係が構築できるようにします。③あいさつ運動を軸に、互いの良さを認め合える集団作りに努めます。
担当 人権福祉教育推進部	
いじめへの対応	①毎朝の連絡会やいじめ防止対策委員会を充実させ、いじめの未然防止・早期発見に努めます。②定期的なアンケートやYPアセスメントを通じて、実態把握といじめの未然防止・早期発見・解決に努めます。③誰もが安心して参加でき、自尊感情を高める授業づくり・集団づくりを推進していきます。
担当 いじめ防止委員会	
人材育成・組織運営(働き方改革)	①今日的課題に対して、計画的な研修を実施し、教師力向上に努めるとともに、若手職員の学習指導・生活指導力を高めます。②職員相互の授業使用プリントや授業案を共有したり、相互授業見学を行ったりすることで、質の高い教材研究を効率よくできるようにします。③組織力強化とミドルリーダー育成を目指し、学年連絡会の充実にも努めます。④サーベイフィードバックを通して、小田中学校に適した働き方改革に取り組む。
担当 教務・教育プロジェクト	